

デジタル・トランスフォーメーション特別委員会

令和8年7月6日

1 報告事項

(1) 令和8年度区民等参加型デジタルプロジェクトについて 【資料】

(2) 行政手続きのオンライン化に係る取組状況について 【資料】

(3) 千代田区全庁LAN基盤整備及び運用保守業務に係る事業者選定
報告について 【資料】

2 その他

3 閉会中の特定事件継続調査事項について

令和8年度 区民等参加型デジタルプロジェクトについて



- 地域が主役となり、地域の課題をデジタルで解決することを目的に、区民等参加型デジタルプロジェクトを令和6年度から開始
- 地域が主体となりデジタルで地域課題を解決する「シビックテック」を推進し、区民生活の質の向上を目指す



R6 デジタル活用提案制度
区民等からのアイデア募集



R7 中学生政策提案WS
中学生の新発想で課題提案



R8～ 共創コミュニティ構築
新窓口設置・大学連携・PF活用



令和6年度：デジタル活用提案制度

応募95件 / 採用2件

◆募集テーマ

デジタル技術を活用し、地域課題の解決や行政サービスの向上につながる取組

◆進め方

区民等からアイデア募集→審査→区民投票→次年度の予算・施策に反映

◆募集期間

令和6年4月5日（金）～5月31日（金）

◆採用提案

- ① デジタル書面送付サービス
- ② スクールカレンダーのiCalendar形式公開



令和7年度：中学生政策提案WS

参加7名 / 選定2件

◆対象

先入観のない、新しい視点や発想で提案を考えられる中学生

◆進め方

事業者からのアイデアを受け、区民が千代田区の課題解決につながる事業を提案

◆募集期間

令和7年6月5日（木）～7月24日（木）

◆選定テーマ（※デジタル活用提案制度のテーマから選定）

- ① 文化財に関する情報発信を強化
- ② 区の情報発信を強化

取組みの成果及び改善点



成果



生活者視点の重要性が確認

区民個人の提案が多く、
生活者視点で課題を捉える有効性が示された



区民参加への関心獲得

提案件数は95件で、区民等参加型デジタルプロジェクトへの関心が
得られた



改善点



区民ニーズを的確・迅速につかみきれていない

区民ニーズは日々変化するとともに、
地域課題の選定にはより多くの意見・提案が必要



「誰が何を担うか」の役割の整理が必要

事業者の課題提起は自社サービス導入が前提となり、
課題抽出と事業化を同一主体が担うには限界がある

今後の方向性

- 上記の評価を踏まえ、今後のプロジェクトを「役割整理 × 区民参画 × 共創」の3軸で再設計

01 役割整理

課題は「区民」から、
解決策は「行政・事業者」が担う

- ・ 地域を支える区民、行政、事業者等の
それぞれの役割を整理する

02 課題の的確・迅速な把握

区民の声を起点に、
地域課題を早く・正しくつかむ

- ・ 区民参画を前提に、課題を的確かつ迅速
につかむ仕組みを作る

03 共創コミュニティ

課題の発見からサービス提供まで、
みんなでつなぐ

- ・ 「ちよだデジタル共創コミュニティ（仮
称）」を場に、地域課題解決を目指す



ちよだデジタル共創コミュニティ（仮称）のイメージ

- デジタル化のニーズ（課題）を的確かつ迅速に把握するための窓口（フォーム）を設置
- 各主体の役割を明確にし、民間団体（企業等）との共創を見据えた取組みを実施

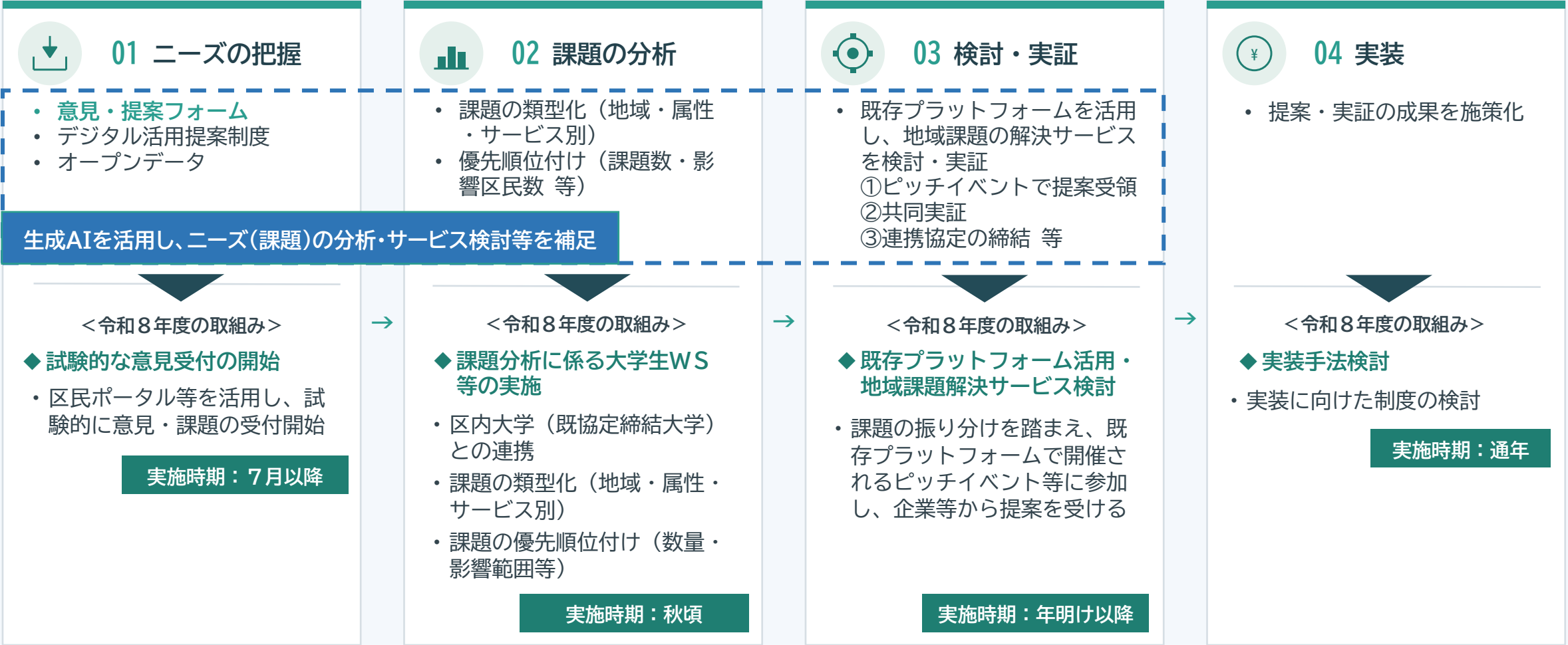


役割分担： 区民等の意見を区が集約 → 区・大学が分析 → 既存プラットフォームを活用し民間団体（企業等）と協業・実証 → 実装を検討

令和8年度の取組み

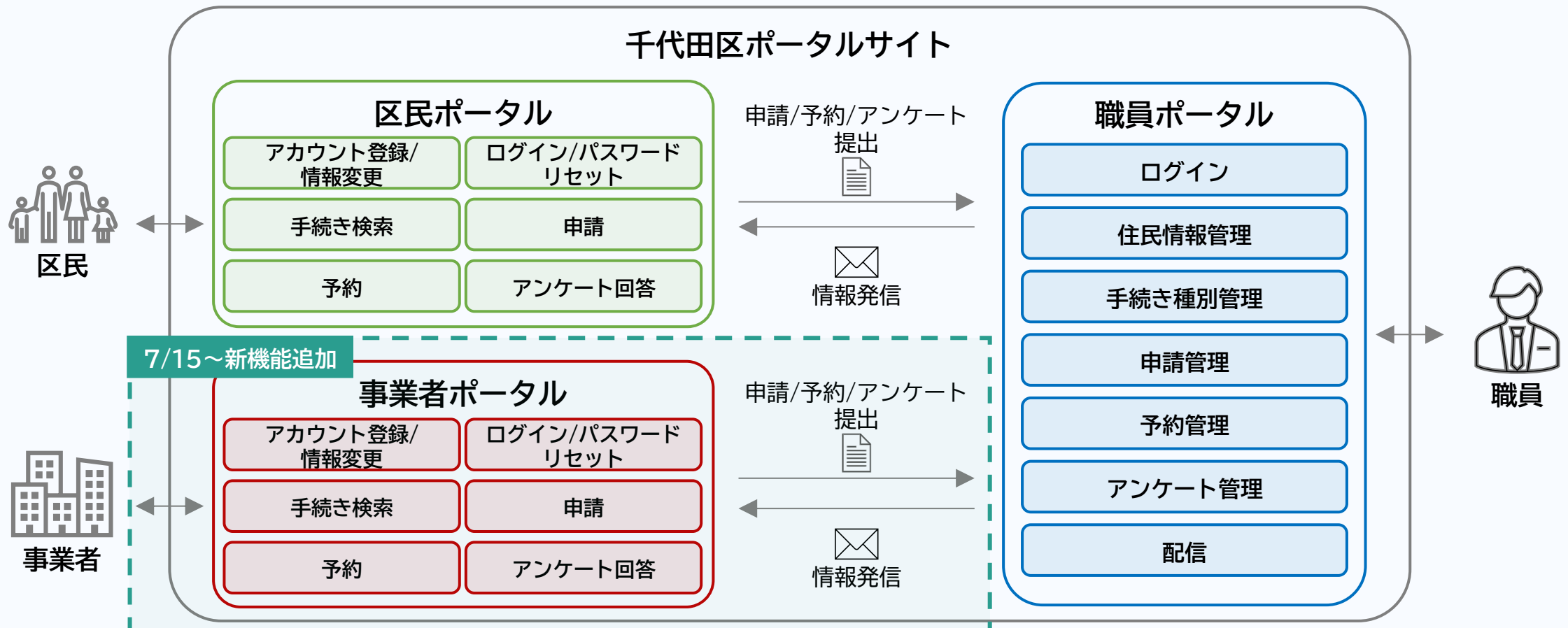


■ 新設する窓口（フォーム）で把握したニーズ（課題）を踏まえ、課題を分析し、既存のプラットフォームを活用したサービスを検討



行政手続きのオンライン化に係る取組状況について

- 地域で活動する誰もが、いつでも、どこでも、申請等を行えるよう、令和5年8月から「千代田区ポータルサイト」の運用を開始
- 千代田区DX戦略では、令和9年度までに、原則すべての手続きのオンライン化を目指すこととしている。
- 千代田区ポータルサイトは、区民・事業者・職員向けの3つの機能で構成しており、**令和8年7月15日から事業者向けの機能を新たに追加**



事業者ポータルサイトの運用開始

- 「事業者ポータルサイト」は、事業者向けの補助金申請や各種届出等の手続きをオンラインで行うとともに、事業者向けの情報配信を可能とする。

事業者ポータルサイトの特徴

01

来庁不要・24時間対応

開庁時間の制約なく手続きを可能に。
移動や待ち時間を解消し、負担を軽減

02

申請状況の見える化

申請の進捗をオンラインで
確認でき、状況が見える化

03

必要情報の プッシュ配信

必要な支援制度や提出期限を
プッシュ型で配信し、
取りこぼしを防止へ

04

自動入力

入力支援・自動入力により
入力負担や記入漏れを軽減

※ 主な機能は「区民ポータルサイト」と相違なく、区民向けの便利機能の特徴を継承し、事業者も同様の操作で利用可能となるもの

→ 事業者の負担を軽減すると同時に、区職員の事務処理も効率化する。

公開する手続き、周知方法及びスケジュール

- 7月15日に事業者ポータルサイトの本格運用を開始し、**約500手続き**を公開

対象手続き数

約500 手続き

公開する手続きの例

- ・ 千代田区保育施設等加算給付の申請
- ・ 診療所等の開設申請
- ・ 中小企業販路拡大事業支援補助金
- ・ 大規模建築物再利用計画の届出
- ・ 災害用備蓄物資購入助成

- 各種広報媒体を活用した事業者ポータルサイトの周知

- 1 広報千代田への掲載（7月5日号）
- 2 区HPやSNSを活用した周知
- 3 プレスリリース（7月9日予定）

- 今後のスケジュール

10月

「手数料等の徴収を伴う手続き」
「処分通知等に公印が伴う手続き」オンライン化開始
対象：約850手続き

令和9年度
以降

原則すべての手続きのオンライン化に向けた
対象手続きや機能の拡充

事業者ポータルサイトの画面イメージ

<事業者ポータルサイトトップ画面>



原則「GビズID※」を用いた
ログイン・認証を実施

※ GビズID：国が運営するすべての事業者を対象とした共通認証システム。アカウントを作成すると、一つのID・パスワードで、複数の行政サービスにログインでき、補助金申請、社会保険手続、各種認可申請など業務上の電子届出や申請に使用可能。

フリーワード検索が可能

事業目的(開業・許認可/補助金・助成金等)や業種・分野(建設・建築業/保育・子育て支援等)から目的の手続きを検索可能

千代田区全庁 L A N 基盤整備及び運用保守業務に係る事業者選定報告について

1 経緯

区的全庁 L A N システムは令和 6 年度から β ' モデル環境での運用を開始した。W E B 会議や生成 A I などクラウドサービスの活用や業務システムにアクセスしやすくなったことにより、業務効率と利便性の向上に一定の成果が見られる。一方、複数端末の併用、通信遅延、認証・権限管理の複雑さなどの課題も顕在化している。

これらの課題を踏まえ、新たな全庁 L A N 基盤では、端末・ I D 認証の一元化や柔軟な通信環境整備を行う。また、クラウドサービスによるアクセスの制御に加え、遠隔制御による端末保護など多層的な対策を行う。これらにより、1 人 1 台の端末で業務が完結する環境、情報資産を適切に守りながらどこでも働ける環境、災害時の業務継続が可能な体制整備を実現する。

以上の課題への対応と、耐用年数を迎える機器更新のため、全庁 L A N システムのリプレースを実施する。

2 公募型プロポーザル方式による事業者選定

本リプレースは、広範かつ確かな見識、経験、企画力を有する事業者を選定する必要がある、価格のみによる競争は馴染まないため、公募型プロポーザル方式により事業者選定を行った。

(1) 選定過程

令和 8 年 1 月 23 日 要求水準説明書等公表
令和 8 年 2 月 12 日 参加申込書提出期限
令和 8 年 3 月 19 日 提案書提出期限
令和 8 年 3 月 26 日 提案書に基づく事業者プレゼンテーション

(2) 選定委員

小林副区長、デジタル担当部長、関係所管課長、外部有識者

(3) 応募事業者数

1 社

(4) 評価結果

一次審査 20 点満点中 19 点（組織評価、担当者評価）
二次審査 100 点満点中 83.6 点（提案内容評価）
合計 120 点満点中 102.6 点

3 選定事業者・契約期間

提案審査の結果、下記の事業者が委託事業者として選定された。

(1) 選定事業者

名 称 NTT東日本株式会社 東京事業部
所在地 東京都港区西新橋3-22-8
代表者 執行役員 東京事業部長 鈴木 康一

(2) 契約期間

- ・設計及び構築業務
契約締結日の翌日から令和10年2月29日まで
- ・運用保守業務
令和10年3月1日から令和15年2月28日まで

(3) 提案金額（税込）

- ・設計及び構築業務
2,003,999,800 円（提案上限：2,004,000,000 円）
- ・運用保守業務
1,999,999,100 円（提案上限：2,000,000,000 円）

(4) その他

当事業者は、令和3年度に実施された前回の委託事業者選定プロポーザルにおいても選定され、現行の千代田区全庁LAN基盤整備及び運用保守業務を行っている事業者である。